

# 国語科学習指導案

世羅町立中央小学校  
指導者 光元 和恵

1 日時 平成22年 5月26日(水) 5校時

2 学年 第4学年 7名

3 単元名 「自然のひみつ」  
—あめんぼはにん者か— (学校図書4年上)

## 4 単元について

### ○単元観

本単元は、段落の要点をつかみ、段落相互の関係を考えながら読み取る力を身につけることをねらいとして、教材文「あめんぼはにん者か」の学習をする。

本教材は、子どもたちにとって身近な生き物であるあめんぼが取り上げられており、題名が「あめんぼはにん者か」と子どもたちを引きつけるような工夫がされているなど、子どもたちが興味と意欲をもって学習することができる教材である。

教材文はあめんぼがなぜ水面にうまく浮かんだり走ったりできるのかを、「問い」と「答え」の構造を使って具体的に説明し、最後にその具体例を受けて、筆者の主張でまとめるという論の展開で構成されている。「序論」①②、「本論1」③～⑩「本論2」⑪～⑮、「結論」⑯～⑳という構成になっており、具体の部分と主張の部分が明確である。このような教材を通して、説明的な文章を正確に、また、豊かに読み取る力を身につけさせることができると考える。

### ○児童観

本学年の児童は、3年生のときに4つの説明文教材（自然のかくし絵・道具を使う動物たち・つな引きのお祭り・もうどう犬の訓練）の学習を通して、形式段落の中心となる大切な文を抜き出すことや序論・本論・結論の3つの大きなまとまりに分けることなどがおおむねできるようになっている。

しかし、先日行われた標準学力調査の様子を見てみると、説明されている内容を正しく読み取ることができていない児童が2/7であった。さらに、具体的な説明は読み取れても、抽象的にまとめられている筆者の主張をまとめることができていない児童も2/7であった。説明文を正確に読み取ること、事実と意見の関係をとらえて読むことなどが課題であると言える。

### ○指導観

本単元では、「段落の要点をつかみ、段落相互の関係を考えながら読むことを通して、書かれている事柄を正しく読み取る力」を育てることをねらいとして指導にあたる。

#### (1) 段落の要点をつかむ

- ・内容を読み取らせるために、写真を切り取った文章を読ませる。どこにどの写真が使われているか話し合っって貼らせることにより、資料となる写真と文章とを関連させながらおおまかな内容を読み取らせる。
- ・形式段落の中心となる1文を抜き出して短くまとめ、内容を正確に読み取らせていく。そのとき、文末を体言止めにする方法を指導し、意味段落を考えて段落の関係をまとめることにつなげられるようにする。

(2) 段落相互の関係を考えながら読む

- ・接続詞（でも・ところで・このように・つまり・・・）に着目して、段落のつながりを考えさせる。
- ・前半部分（⑮まで）と後半部分（⑯以降）の説明のしかたをとらえさせ、筆者は、あめんぼの生態を詳しく説明する文ではなく、あめんぼの生態をもとに、主張に結びつけていることを読み取らせる。

## 5 単元の目標

○生き物の生態の説明を通して自然環境の大切さに興味を持ち、進んで読もうとする。

【国語への関心・意欲・態度】

○段落の要点をつかみ、段落相互の関係を考えながら、書いてある事柄を読み取ることができる。

【C 読むこと】

○指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関わる事項イ（ク）】

## 6 単元の評価規準

		関心・意欲・態度	読む能力	言語に関する知識・理解
人間関係形成能力	自他の理解能力			
	コミュニケーション能力			
情報活用能力	情報収集・活用能力	情①題名から内容を予想して読もうとしている。	情②文章に合う写真を選び、文章全体を序論・本論1・本論2・結論の四つの大きなまとまりに分けている。 情③問題提示文①とその答えを読み取り、要点をまとめている。 情④問題提示文②とその答えの要点をまとめ、本論1との関係を理解している。	情⑤指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。
	職業理解能力			
将来設計能力	役割把握・認識能力			
	計画実行能力			
意思決定能力	選択能力			
	課題解決能力		課①文章全体を構成図にまとめ、段落相互の関係をとらえている。	

## 7 指導計画 (全5時間・本時4/5)

次 (時)	学習内容	評 価				
		関	読	言	評価規準	方法
一次 (1)	○説明文を読んで初発の感想を書き、学習計画を立てる。	◎			題名から、内容を予想して読もうとしている。 (情①)	行動観察
二次 (3)	○写真と文章をつなげて読みながら、全体の大まかな内容をつかむ。		◎		文章に合う写真を選び、文章全体を序論・本論1・本論2・結論の四つの大きなまとまりに分けている。 (情②)	ワークシート
	○内容を読み取る。 ・本論1の内容を読み取る。		◎		問題提示文①とその答えを読み取り、要点をまとめている。 (情③)	ノート・発言
	・本論2の内容を読み取り、本論1との関係を説明する。(本時)		◎		問題提示文②とその答えの要点をまとめ、本論1との関係を理解している。 (情④)	ノート
三次 (1)	○構成図をかいて、文章全体の構成をとらえる。		◎	○	文章全体を構成図にまとめ、段落相互の関係をとらえている。 (課①) 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができている。 (情⑤)	ノート 発言

## 8 本時の目標

- 本論2の内容を読み取り、本論1との関係を説明することができる。

## 9 本時の展開

学習段階	主な発問と予想される児童の反応	○支援 ◎評価	キャリア教育の視点
<b>学習課題の提示</b>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">本論2をまとめよう。</div>	○これまでに取り上げたことを掲示しておき、これまでの説明を手がかりに読み進めさせる。	<b>情報活用能力</b> (情報収集・探索能力)
1 学習課題を確認する。	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">情報の共有</div>	○前時の自己評価を紹介する。	・掲示物の情報をもとに学習課題を把握し、本時の学習のめあてをつかむことができる。

<p><b>個人解決①</b></p>	<p>○⑫段落から⑮段落にはどんなことが書いてありますか。</p>	<p>○それぞれの段落の中心文と、何について書かれているのか（主語）にサイドラインを引かせながら読ませる。</p>	<p><b>情報活用能力</b>（情報収集・探索能力）</p>
<p>2 本論 2 の形式段落の要点をまとめる。</p>	<p><b>観点をもった読み</b></p> <p>⑫水の上でくらしているあめんぼは、何を食べて生きているのか。</p> <p>⑬水面に落ちてきた虫を食べるあめんぼ</p> <p>⑭水面に落ちてきた虫だけを食べる生き方をするようになったあめんぼ</p> <p>⑮自分の足で水面にうかんだり、走ったりすることができるようになったあめんぼ</p>	<p>○⑫～⑮段落の要点をまとめさせる。</p>	<p>・課題解決のために、「何に着目して読むか」目的意識をもって読むことができる。</p>
<p><b>個人解決②</b></p> <p>3 本論 2 が本論 1 とつながっているかどうか、自分の考えを書く。</p>	<p>○本論 2 は、本論 1 とつながっているでしょうか。</p> <p><b>観点をもった読み</b></p> <p>（予想される記述）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つながる。自分の足で水面にうかんだり走ったりできるようになったのは、えさを食べるためだから。</li> <li>・つながらない。それまでは、足の説明がしてあって、そのあとはえさの説明がしてあるから。</li> </ul>	<p>○結論先行の論の展開で書かせる。</p> <p>理由は、前時の学習までに読み取ったこととつなげて書かせる。</p> <p>○前時までの段落に書かれていたことを想起させる。</p>	<p><b>情報活用能力</b>（情報収集・探索能力）</p> <p>・これまでに学習してきたことと関連させて理由をあげることができる。</p>
<p><b>集団解決</b></p> <p>4 本論 2 が本論 1 とつながっているかどうか話し合う。</p>	<p>○本論 2 は、本論 1 とつながっているでしょうか。</p> <p><b>練り合いを深める発問</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つながる。どうしてかと言うと、⑮段落に、「そのために」、と書いてあって、それは、えさを食べるために自分の足でうかんだり走ったりすることができるようになったということだから。</li> <li>・つながらない。本論 1 は、足のことの説明がしてあって、本論 2 は食べ物の説明だから。</li> </ul>	<p>○理由の根拠を明らかにさせながら説明させる。</p> <p>練り合いが深まらないときは、架空の人物の考えとして対立意見を提示する。</p> <p>◎本論 2 と 1 のつながりを、根拠を挙げながら説明することができる。</p> <p>（ノート）</p>	<p><b>人間関係形成能力</b></p> <p>（コミュニケーション能力）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの意見と自分の意見を比較しながら聞き、自分の意見を深めることができる。</li> </ul> <p><b>3 ポイント発言</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○結論を明確に</li> <li>○理由を示しながら</li> <li>○広げる</li> </ul>

<b>まとめ</b>	○今日の学習課題について振り返りをしましょう。	○自分の言葉で、学習したことをまとめて発表させる。 ○3つの観点で自己評価させる。 ①めあての達成 ②学び方への気づき ③今後の学習に活かしたいこと	<b>人間関係形成能力</b> (自他の理解能力) ・自己評価をもとに自己の成長に気づくことができる。
5 学習の振り返りをする。	<b>継続的な自己評価活動</b>		

本時の判断基準

本論2は本論1とつながることを、根拠を挙げながら説明することができる。		
A	B	Cの児童に対する手立て
<p>本論2と1はつながるか、あめんぼの生態と結びつけて、根拠を挙げながら説明している。</p> <p>・本論2と1はつながります。本論2には食べ物のこと、本論1には水面にうかんだり走ったりできることが書いてあります。つまり、えさを食べるために自分の足でうかんだり走ったりすることができるようになったということを説明しているからつながります。</p>	<p>本論2と1はつながることが分かる。</p> <p>・本論2の最後の段落に、あめんぼは自分の足で水面にうかび、水面を走ることができるようになったと書いてあるからつながります。</p>	<p>本論1の内容を振り返らせる。</p> <p>⑮段落に着目させ、その具体的な説明を見つけさせる。</p>